



三星の風

第9号

平成18年12月22日
鹿兒島県立
鹿屋高等学校

クラスマッチ 一・二年



フェアプレイで勝利を！

十二月八日(金)、恒例のクラスマッチが行われました。クラスマッチは、お互いに競い合い、協力し合い、学級の和、さらに学校全体の和を深め、士気の向上を図るとともに、日頃の正課体育での成果を発表することを目的としています。今回は、受験をひかえた三年生は参加できませんでしたが、その分、一・二年生が元気に競い、声援し合っていました。当日は、前日までの悪天候をよそに、晴れ日和となりましたが、グラウンドにはぬかるみもありました。そんな中、早朝から部活動生がグラウンド整備をしてくれたおかげで、順調に試合が行われ、参加した生徒に大きなけがもなく、終えることができました。一学期に比べ、クラスの和をより親密なものにすることができた、いい機会となりました。

結果は、次のとおりでした。

総合優勝ー二年一組、二位ー一年一組、三位ー二年五組、バレーボール優勝ー男子二年六組、女子二年一組、バスケットボール優勝ー男子二年八組、女子二年五組A、サッカー優勝ー男子一年一組、女子一年八組、ソフトボール優勝ー男子二年五組、女子一年七組A、卓球優勝ー男子一年五組B、女子ー一年二組

進路検討会・三者面談 三年

学力検討会 一・二年

十二月四日(月)〜八日(金)にかけて三年生を対象とした第二回進路検討会が実施されました。いよいよ大学入試センターや各大学への試験の時期が迫り、これまでの指導を踏まえ、生徒ひとり一人の成績の伸びを評価し、今後の可能性を検討していくことを主眼としています。具体的な資料をもとに、できるだけ現役で進路目標を達成するためにはどのような受験校群を設定したらよいか、本人の適性と進路志望がマッチしているか、学力を最高の状態に持っていく、本番で成功するにはどのような助言が望ましいか、このような観点から生徒の個に応じた検討が熱心に行われました。ここで検討されたことを参考にしながら三者面談が十一日(月)から年末まで実施されます。

また、一・二年生を対象とした学力検討会を終業式の後行い、様々な面からの個に応じた指導方法が検討されました。

外部講師による三星道場

十二月九日(土)の三星道場で、北九州予備校から三名の講師を招き、二年生を対象とした特別講義が実施されました。文系は英語理系は数学を、いずれもセンター試験レベルの内容で九十分受講しました。普段とは一味違った雰囲気の中で、生徒達も真剣に取り組んでいたようです。講師の先生には授業ばかりでなく、予備校生がどんな気持ちで、日々勉強に取り組んでいるのか、また、昔ある有名私立大学を卒業したものの、さらなる目標を見出し、大学合格を目指している講師と同年代の予備校生の話など、大変興味深い話もしていただきました。

予備校講師の先生の授業と生の声を聴くことにより、「いよいよ来年は受験生なんだ」という認識を新たにし、自己実現へ向けての起爆剤になったようです。今回の講義を通して、二年生は三学期を「三年0学期」として気持ちを引き締め、一足早く、受験モードに突入して欲しいと感じることでした。



予備校生より真面目かな？

美術部県美展入賞・入選

本校美術部は現在一年生五名、二年生四名で活動しています。主な活動としては、体育祭の応援パネル制作、文化祭での作品展示、地区高校美術展や県高校美術展への出品、ブラッセだいわにおいて毎年開催している美術・書道・写真・吹奏楽部の合同展『生鮮芸術市場』への出品などあげられます。その他、一年を通じてデッサンやクロッキーに励んでいます。ほとんどが個人での制作で、孤独な作業になるわけですが、部員同士は非常に仲が良く、時にはお互いの絵を批評しあったり、意見をぶつけあったりして切磋琢磨しています。美術に興味がある、絵が上手になりたい、何か表現活動がしてみたいという人はぜひ一度美術室にお越し下さい。

第五十七回県高校美術展が開催され、県内の学校から八百五十七点の作品が出品され、五百十三点が入選・入賞を果たしました。本校からは、油絵六点とデザイン三点を出品しました。結果は、次のとおりです。

- ・ 県高文連賞二年一南 佳奈江
- ・ 県高美研賞二年一中峯 由紀子
- ・ 入選 二年一中西梨沙、有留絃代、一年一有蘭和代、松永志帆、有留佑樹、牧田紗季



南佳奈江さんの作品

新生徒会役員決まる

十二月十九日(火)午後から後期生徒会役員立会演説会が行われました。会長候補十名をはじめとして三十五名が十の役職を目指して熱弁をふるいました。選ぶ側の生徒も候補者と応援者の主張を真剣に聞いていました。その後、教室でだちに投票が実施され、次のとおり新役員が決定しました。

- 会長 吉田 有騎 (二年 鹿屋中)
 - 副会長 坂口佑一郎 (二年 根占中)
 - 書記 山内 梨加 (二年 第一鹿屋中)
 - 会計 松留 美帆 (二年 東串良中)
 - 文化委員長 榎木 健太 (二年 高須中)
 - 同委員長 川畑 友紀 (二年 鹿屋中)
 - 同委員長 千歳 翔太 (二年 高山中)
 - 同委員長 萩原 崇文 (二年 花岡中)
 - 同委員長 田畑 圭也 (二年 内之浦中)
 - 図書委員長 園田 朋絵 (二年 高山中)
 - 同委員長 福元健太郎 (二年 花岡中)
 - 交通委員長 久保田智美 (二年 高山中)
 - 同委員長 小園 翔平 (二年 川上中)
 - 体育委員長 前田 大洋 (二年 神川中)
 - 同委員長 大楽 知佳 (二年 鹿屋東中)
 - 風紀委員長 新原 拓也 (二年 国見中)
 - 同委員長 迫田 佳大 (二年 鹿屋東中)
 - 保健委員長 小島 亜衣 (二年 鹿屋東中)
 - 同委員長 新留 勝久 (二年 有明中)
- 新役員の中で、山内梨加さんと萩原崇文君は四期連続で生徒会活動することになります。任期は、来年一月から六月までの半年間です。
- 生徒会活動は、学校を改善してくれる部活動といっても過言ではありません。新役員のもと、学校のより良い活性化が図られることを期待しましょう。
- 樋高雄将会長をはじめとする現生徒会役員の皆さん、お疲れ様でした。

写真からみた鹿屋高校 —授業風景 今・昔—

昭和46年ごろ 70周年記念誌から



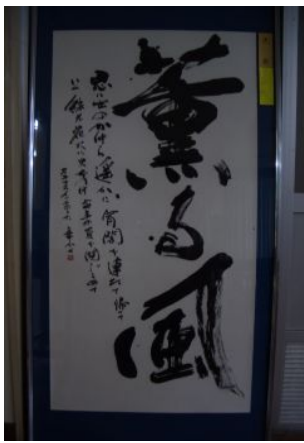
平成15年 卒業アルバムから

第三十七回県高校書道展 第十七回県揮毫大会

第三十七回県高校書道展創作部門において二年生の行騰舞さんが見事大賞に選ばれました。

今年度の書道展には県下六十五校から五百五十三点の出品がありました。各校十二点までという限られた出品の中での大賞受賞は、大変すばらしいことです。また、行騰さんは来年度の全国総合文化祭の出場も決まりました。

十二月十二日には、第十七回県高校揮毫大会が開催されました。例年の大きな会場から



行騰舞さんの作品

非常に狭い体育館での開催で、作品規格も小さいものに制限されるなど窮屈な思いの残る大会でしたが、本校から第一席にあたる「高書研賞」に、二年生の山下由季さんと木下穂志君、樋高雄将君が入賞しました。

今後もこの賞に恥じることはないように練習に励んで、全国総合文化祭でも頑張ってください。

第2回防災(地震)訓練

十二月六日(水)、地震を想定した訓練が実施されました。生徒は、期末考査直後にもかかわらず、機敏に真面目に訓練に取り組んでいました。有事に際し、被災者を最小限にとどめるための避難訓練でした。大隅・肝属地区消防組合の方から、「鞆を持つてくるなど真摯に取り組んでいた」との講評をいただきました。

県福祉作文コンクール優秀賞

先に行われた県福祉作文コンクールで、三年生の高島翔君の「福祉について」と白山由里さんの「ノーマライゼーションの社会」が優秀賞を受賞しました。

1月の主な行事

- 9日(火) 始業式
- 13日(土) 三星道場①
- 15日(月) センター激励会
- 19日(土) 20日(日) 大学入試センター試験 進研記述(一・二年)
- 26日(金) 長距離走大会 進路検討会
- 27日(土) 三星道場②

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。

<http://www.12.synapse.ne.jp/kanyoyakoukou/>